

◆病院図書室ネットワーク紹介◆

中国四国九州医学図書室ネットワークについて

樋口隆一

I. はじめに

中国四国九州医学図書室ネットワーク（略称：中四九ネット）は1990年日本医学図書館協会中国四国地区部会の総会にオブザーバーとして参加した愛媛県立医療技術短期大学（現 愛媛県立医療技術大学）、高知県立中央病院（現 高知医療センター）、済生会下関総合病院の3機関で中国・四国医療機関図書室（館）ネットワークとして誕生しました。その後、九州地区からの参加も増え、2003年に名称を中国四国九州医学図書室ネットワークに変更しました。創立25年を迎え平成27年現在55機関が参加しています。その中に、松江赤十字病院、益田赤十字病院、高松赤十字病院、徳島赤十字病院、高知赤十字病院、福岡赤十字病院、熊本赤十字病院の7施設の赤十字病院図書室が参加しています。

当ネットワークは地区内の病院および医学関連機関の連携により、利用者が必要とする情報を迅速に提供することを目的に活動しています。

II. 活動内容

中四九ネットの活動は次のものが挙げられます。

1. 総会の開催

総会は年1回開催しています。「一人で悩まない」を基本方針として、主に活動計画、事前に募集した議題の質疑応答等を行っています。多くの会員が他部署との兼務のため、図書室担当者として、業務の見直しおよび交流を深めるという意味で貴重な機会です。

平成26年度の総会では、総会後に近畿病院図書室協議会と交流会を行い、他の研究会との交流も深めています（図1）。

2. 総合目録の発行

目録は Web 目録 KITOcat を利用して各機関が随時更新や訂正を行っています。



図1 平成26年度総会

HIGUCHI Ryuichi
小倉記念病院 図書室

3. ホームページの公開

ホームページ（以下HP）にはWeb目録、会員情報、リンク集の他、会員サイトがあり、会員の情報交換の場ともなっています（図2）。



図2 ホームページ

4. 会報「中四九ネットだより」の発行

会報「中四九ネットだより」を年2回を基本として、現在までに第125号まで発行しています。会報委員が中心となり、総会報告、会員が参加した研修会報告、新人会員の紹介の他に持ち回りで各会員の地元紹介を行うことがあります（図3）。

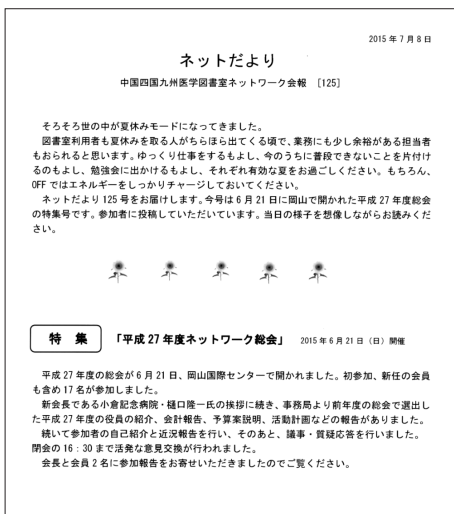


図3 ネットだより（抜粋）

5. 相互協力

当ネットワークでは迅速で安価な文献の提供およびネットワーク内での文献自給率アップを目標に相互協力を行っています。

各会員はWeb目録KITOcatを利用して文献複写依頼を行っています。ネット内文献自給率も50%を超えており、依頼者への複写物の迅速な提供に貢献しています（図4）。

これは各病院図書館がその病院の特性を生かしたオンラインジャーナルの所蔵を行っていることも貢献していると思います。

その特性を考慮して相互協力を行うことが迅速な提供を可能にしていると思います。しかし古い資料の場合、所蔵不明などの問題が起こる場合があります。

この他、医師等の職員からの特定の課題に対する検討依頼があった場合、解決が困難な場合はHP等を介してネットワーク会員内で検討することで解決を目指すように努めています。

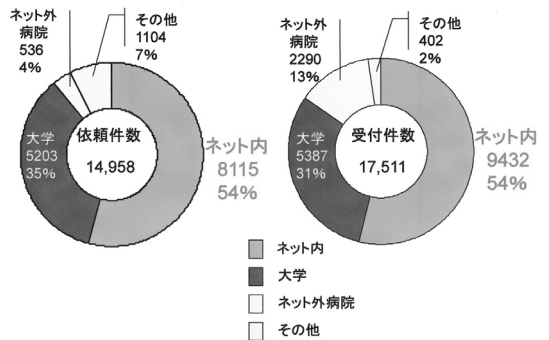


図4 ネット内文献自給率（2006年度 n=30機関）

III. 今後の課題

雑誌の価格高騰が予想される中、今後当ネットワークの相互協力を充実させるために「医師を含む職員との更なる良好な関係を構築し、院内のネットワークの充実を図る。」ことが今後の課題として挙げられました。

医師から得られる情報も多く、このことを活用することはレファレンスサービス等にも有益です。医師が所蔵する雑誌等を活用させて頂くことも可能になるのではと思われると同時に、雑誌等の図書室への寄贈も増え、図書室の利用促進にも繋がると考えています。

このことで各図書室が更に充実すれば、ネットワークへの相互協力も今まで以上に充実するのではと考えています。

IV. おわりに

当ネットワークは資料の相互利用および各会員のスキルアップを意義としています。しかし多くの会員が図書室以外の業務を兼任しており、また新任の担当者が増加し、ネットワーク会員の相互協力の重要性が更に増してきています。そして図書室が病院にとって重要な組織の一部、別の言い方をすれば病院内

の情報メディアセンター化ができればと考えています。

参考文献

- 1) 橋田圭介：中国四国九州医学図書室ネットワークの紹介. 平成26年度近畿病院図書室協議会及び中国四国九州医学ネットワーク交流会. 2014年6月21日
- 2) 藤本衣代：北海道ライブラリー研究会について. 日赤図書館雑誌 2011；18(1)：29-30.
- 3) 久高千秋：沖縄メディカルライブラリー研究会について. 日赤図書館雑誌 2012；19(1)：33-34.
- 4) 清水麻紀：神奈川県医療情報ネットワーク協議会について. 日赤図書館雑誌 2013；20(1)：63-65.